

親族間による経営継承

経営継承までのプロセス

198X年

先代経営者と先代経営者の弟で、
稲作を開始

2007年

後継者がUターンを機に、就農(家業)し、
子育てと両立



先代経営者／
中橋 文雄さん
(83歳)の場合

地元へUターンしてきた娘と10年
間一緒に営農をしていたが突
然、認知症を発症してしまう。

- 収入金額：8百万円(2018年)
- 所得金額：2百万円
- 従業員数：家族従事者1名
(後継者のみ)
- 事業地：石川県羽咋郡宝達志水町
- 事業概要：農産物の生産(稲作)
- 規模：田7.5ha

2017年

先代経営者が急病により、施設に入所

突然の交代

家族の理解と周りの協力、周辺の農業者から
技術面等でアドバイスをもらう

2017年1月

先代経営者から経営継承

労働力不足により、後継者家族(夫)も就農

親から子に継承（親族内継承・個人）

継承内訳

人（経営権）の継承

- 後継者名義の開業届を提出。
- 経営・経理面は先代経営者の弟より学ぶ。

資産（モノ・カネ）の継承

- 資産の引き継ぎは棚卸資産のみ。
- 農地や農業建物については相続で対応することを想定。
- 先代経営者の弟名義の資産の取り扱いについては、協議を行い、賃貸もしくは買い取る方針で調整中。

知的資産の継承

- 生産技術指導として、先代経営者と10年間一緒に営農。
- 先代経営者の弟などの協力を得て、省力化のための直播栽培に切り替える。

継承後の経営発展と今後の取り組み

後継者／高倉香代子さん（53歳）

継承年月…2017年1月
収入金額…140万円（2020年）
所得金額…50万円
従業員数…家族従事者1名（夫）、アルバイト2名（季節雇用）
事業概要…農産物の生産（稲作）
規模…田16ha、畑0.3ha

周辺農家の高齢化により、令和元年は10ha、令和2年は16haと年々経営規模を拡大。子育てをしながら農業経営に取組むため、従来の移植栽培から直播栽培に栽培方法の変更を行うなど、作業の省力化を図る。

女性ならではの視点で効率の良い経営を目指していく。



👉 次ページにて継承ポイントを詳しく解説

中橋家のケースから学ぶ経営継承あるある

登場人物



後継者の夫



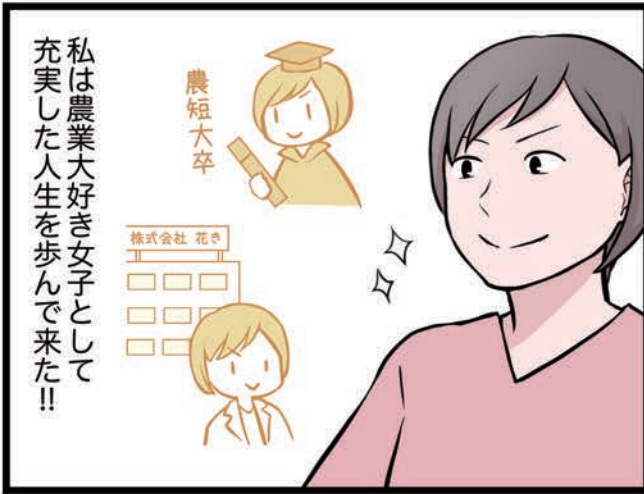
先代経営者：中橋文雄



叔父



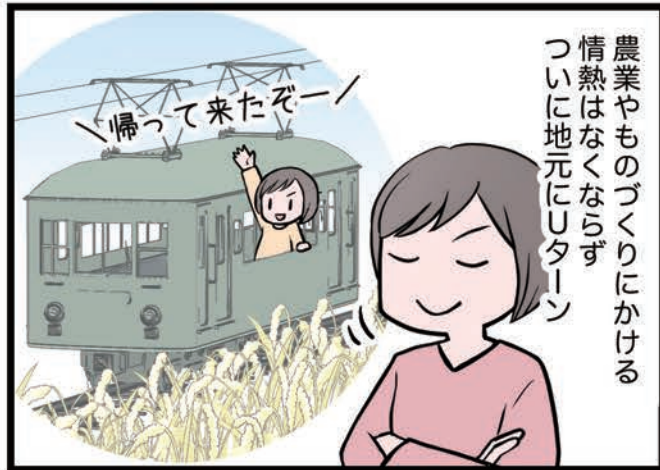
後継者(娘)：高倉香代子



私は農業大好き女子として
充実した人生を歩んで来た!!



良縁にも恵まれ
子供も授かった



農業やものづくりにかける
情熱はなくならず
ついに地元にもUターン



おーい
乾燥機
貸してくれ

あ、
叔父さんだ

父の元で10年、
楽しい農業ライフを
営んできた…はず



めくれたシートを
直してつて
言ったのよ!!
全て剥がして
どーすんのよー!!



何故!!

なのに

Why!!

